

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月6日

上場会社名 スガイ化学工業株式会社 上場取引所 大証二部  
 コード番号 4120 URL <http://www.sugai-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永岡 雅次  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 藤田 忠克 TEL (073)422-1172  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	4,865	—	△196	—	△257	—	△38	—
20年3月期第3四半期	4,965	△3.5	401	2.1	345	3.4	312	0.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	△2	79	—	—
20年3月期第3四半期	22	80	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第3四半期	11,996		4,663		38.9		340	27
20年3月期	11,965		4,887		40.8		356	63

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,663百万円 20年3月期 4,887百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	—	—	—	4	00	4	00	4	00
21年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	4	00	4	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,000	3.3	△180	—	△270	—	240	△25.0	17	51

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

## 4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 [(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
 ② ①以外の変更 : 有  
 [(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 発行済株式数(普通株式)
- |                     |             |             |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) |             |             |             |             |
|                     | 21年3月期第3四半期 | 13,730,000株 | 20年3月期      | 13,730,000株 |
| ② 期末自己株式数           |             |             |             |             |
|                     | 21年3月期第3四半期 | 25,270株     | 20年3月期      | 24,044株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間)  |             |             |             |             |
|                     | 21年3月期第3四半期 | 13,705,497株 | 20年3月期第3四半期 | 13,708,388株 |

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。
- (2) 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的金融危機の影響により大きく後退を余儀なくされました。これまで景気を牽引してきた輸出が落ち込んだほか内需も低迷し、企業収益は大幅に減少、設備投資も減少となりました。個人消費は概ね横ばいであったものの、景気の先行きに対する不安感から節約志向を強める動きが見られます。

海外においては、米国では個人消費や設備投資の落ち込みにより内需が大幅に減少し、極めて厳しい状況となりました。ユーロ圏を中心とした欧州でも景況の悪化が顕著で、アジアにおいても景気に減速が見られます。

このような状況の中で、当第3四半期累計期間における当社の営業は、国内売上高は3,355百万円と前年同期(3,304百万円)に比べ51百万円(1.5%)の増収となりました。これは、医薬中間物及び機能性中間物の売上は減少しましたが、農薬中間物の殺菌剤用、殺ダニ剤用が伸びたためです。

一方、輸出売上高は1,509百万円と前年同期(1,660百万円)に比べ150百万円(9.1%)の減少となりました。これは、農薬中間物の除草剤用が伸長しましたが、医薬中間物の血圧降下剤用がユーザーにおける在庫調整により減少したためです。

この結果、総売上高は4,865百万円となり、前年同期(4,965百万円)に比べ99百万円(2.0%)の減収となりました。また、輸出比率は31.0%(前年同期33.4%)となりました。

利益につきましては、原材料価格の上昇、期末にかけての円高の影響及び平成20年1月に福井事業所において新設した医薬専用工場の減価償却負担等により、営業損失は196百万円(前年同期営業利益401百万円)となりました。営業外損益では、受取配当金が16百万円ありましたが、支払利息60百万円を計上したこと等により、経常損失は257百万円(前年同期経常利益345百万円)となりました。

特別損益は、特別損失としてたな卸資産評価損164百万円を計上しましたが、新設工場に対する福井県からの補助金414百万円を計上したこと等により、当四半期純損失は38百万円となりました。

なお、前年同期増減率(前年同期の金額)は参考として記載しています。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ30百万円増加の11,996百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1,081百万円及び機械及び装置が201百万円減少しましたが、製品が1,277百万円及び建設仮勘定が176百万円増加したことによるためです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ255百万円増加の7,333百万円となりました。これは主に設備関係支払手形が457百万円減少しましたが、長期借入金が348百万円及び未払金が171百万円増加したことによるためです。また、純資産は前事業年度末に比べ224百万円減少の4,663百万円となり、自己資本比率は38.9%(前事業年度末40.8%)となりました。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

米国に端を発した景気減速は世界的に広がりを見せ、金融市場の混乱、為替相場の変動等により世界経済の先行きに不透明感が強まる中で、当社においても売上高の減少、予想以上の円高による輸出製品の採算悪化が見込まれます。こうした中で当社は、より一層の製品のコストダウン及び経費削減等に努め、収益の改善を図ってまいります。

なお、業績予想につきましては、平成20年11月7日に公表した平成21年3月期の予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

## (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期会計期間より適用し、評価基準については、総平均法による原価法から総平均法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、営業損失及び経常損失が81百万円、税引前四半期純

損失が245百万円それぞれ増加しております。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期会計期間より早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、リース資産の減価償却方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引続き採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(追加情報)

当社の機械及び装置については、法人税法の改正を契機として見直しを行い、第1四半期会計期間より耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ33百万円減少しております。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	631,026	479,425
受取手形及び売掛金	1,524,655	2,605,701
製品	2,686,858	1,408,911
半製品	696,779	836,615
原材料	437,059	272,395
仕掛品	67,625	96,553
貯蔵品	19,297	18,910
その他	54,944	136,490
貸倒引当金	△4,626	△7,910
流動資産合計	6,113,620	5,847,093
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,152,951	1,238,235
機械及び装置(純額)	1,936,755	2,137,782
土地	1,201,903	1,201,903
その他(純額)	828,232	630,147
有形固定資産合計	5,119,843	5,208,068
無形固定資産	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	685,025	827,560
その他	111,888	117,037
貸倒引当金	△39,745	△39,766
投資その他の資産合計	757,168	904,831
固定資産合計	5,882,829	6,118,718
資産合計	11,996,449	11,965,812
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,435,577	1,264,338
短期借入金	1,550,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	723,000	541,000
未払法人税等	8,632	15,475
賞与引当金	27,725	92,061
その他	750,766	1,049,673
流動負債合計	4,495,701	4,412,548
固定負債		
長期借入金	2,569,050	2,402,300
退職給付引当金	142,162	133,620
役員退職慰労引当金	79,132	64,976
その他	47,069	64,439
固定負債合計	2,837,414	2,665,336
負債合計	7,333,116	7,077,884

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	470,689	563,769
自己株式	△4,044	△3,854
株主資本合計	4,993,187	5,086,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△329,854	△198,530
評価・換算差額等合計	△329,854	△198,530
純資産合計	4,663,333	4,887,927
負債純資産合計	11,996,449	11,965,812

## (2) 【四半期損益計算書】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	4,865,446
売上原価	4,336,908
売上総利益	528,538
販売費及び一般管理費	
発送運賃	70,243
従業員給料及び手当	245,217
賞与引当金繰入額	8,337
退職給付費用	65,546
役員退職慰労引当金繰入額	14,156
その他	321,638
販売費及び一般管理費合計	725,138
営業損失(△)	△196,600
営業外収益	
受取利息	758
受取配当金	16,539
その他	8,366
営業外収益合計	25,665
営業外費用	
支払利息	60,735
その他	25,953
営業外費用合計	86,689
経常損失(△)	△257,624
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,304
補助金収入	414,507
特別利益合計	417,811
特別損失	
固定資産除却損	21,349
たな卸資産評価損	164,465
固定資産撤去費用	8,570
特別損失合計	194,384
税引前四半期純損失(△)	△34,197
法人税、住民税及び事業税	5,547
法人税等調整額	△1,489
法人税等合計	4,058
四半期純損失(△)	△38,256

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△34,197
減価償却費	669,325
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,304
賞与引当金の増減額(△は減少)	△64,335
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,542
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,156
受取利息及び受取配当金	△17,298
補助金収入	△414,507
支払利息	60,735
為替差損益(△は益)	20,276
固定資産除却損	21,349
売上債権の増減額(△は増加)	1,081,045
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,274,234
仕入債務の増減額(△は減少)	171,239
その他	53,647
小計	292,439
利息及び配当金の受取額	17,266
補助金の受取額	414,507
利息の支払額	△63,541
法人税等の支払額	△7,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	653,140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△885,166
投資有価証券の取得による支出	△5,763
投資有価証券の売却による収入	10,203
その他	5,189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△875,536
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000
長期借入れによる収入	750,000
長期借入金の返済による支出	△401,250
配当金の支払額	△54,288
その他	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	394,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	151,600
現金及び現金同等物の期首残高	479,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	631,026

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 【参考資料】

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年第3四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金 額
I 売 上 高	4,965
II 売 上 原 価	3,889
売 上 総 利 益	1,075
III 販売費及び一般管理費	674
営 業 利 益	401
IV 営 業 外 収 益	33
V 営 業 外 費 用	88
経 常 利 益	345
VI 特 別 損 失	28
税引前四半期純利益	317
税 金 費 用	4
四 半 期 純 利 益	312

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年第3四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税引前四半期純利益	317
2. 減価償却費	367
3. 賞与引当金の減少額	△62
4. 退職給付引当金の増加額	15
5. 為替差益	△4
6. 有形固定資産除却損	28
7. 売上債権の減少額	603
8. たな卸資産の増加額	△1,007
9. 仕入債務の増加額	334
10. その他	25
小 計	618
11. 利息及び配当金の受取額	15
12. 利息の支払額	△53
13. その他	△15
営業活動によるキャッシュ・フロー	565
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	△1,114
2. その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,112
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金の純減少額	△175
2. 長期借入れによる収入	1,200
3. 長期借入金の返済による支出	△685
4. 配当金の支払額	△40
5. その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	297
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4
V 現金及び現金同等物の減少額	△245
VI 現金及び現金同等物の期首残高	993
VII 現金及び現金同等物の期末残高	748